

補正具購入 一部助成へ

がん治療外見ケア 県、市町村とタッグ

がん治療による脱毛や乳房の摘出などで外見が変わった患者に、医療用の補正具を施すなどして苦痛を軽減する「アピアランス（外

見）ケア」で、県は二〇二三年度、市町村と共同で補正具の購入費の一部を助成する事業に乗り出す。一日の県議会二月定例会で、二

三年度中に三十八市町村で実施する方針を説明した。

各市町村が窓口となって実施し、県は市町村が助成した金額の半分、一件あたり最大一万円まで負担する。ウィッグや乳房パッドなどの購入費を対象としている。県は事業費として、二三年度一般会計当初予算

案に五百八十四万円を計上している。

この日、竹内正美議員（自民）の一般質問に県の福田雄一健康福祉部長が答弁した。県の担当者は「が

んは治療し、共生する社会になってきている。治療後も前向きに社会参加できるように支援していきたい」と話す。

（清水悠莉子）